

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 **新**飛騨・世界文化センター開館20周年記念 事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局 文化創造課文化施設係 電話番号：058-272-1111 (内 2458)

E-mail: c11146@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,800千円 (前年度予算額：0千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県債	一般 財源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	3,800	0	0	0	0	0	0	0	3,800
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

飛騨・世界生活文化センター (以下「飛騨センター」) は、平成13年7月に開館し、令和3年7月に20年を迎える。開館から20周年という節目を契機に記念事業を開催することにより、飛騨地域の住民をはじめ広く県民に飛騨センターの魅力を知ってもらい、更なる県民文化の振興や飛騨地域の活性化を図る。

(2) 事業内容

飛騨センターの開館20周年を記念し、飛騨芸術堂にて以下の事業を実施する。

- ・ 飛騨地域ゆかりの映画の上映会
- ・ 飛騨春慶塗の弦楽器を使用したシネマコンサートの開催

(3) 県負担・補助率の考え方

- (4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	3,800	指定管理者への委託料
合計	3,800	

決定額の考え方

必要があれば指定管理自主企画事業の中で実施することとして計上を見送ります

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

無（単年度事業であるため）

(2) 事業主体及びその妥当性

県有文化施設の開館20周年を記念する事業であるため、県事業として実施するが、当施設は指定管理者制度を導入しているため、指定管理者が実施主体として実施する。

事業評価調査（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 飛騨センターの開館20周年を機に、その記念事業を実施し、飛騨地域の住民をはじめ広く県民に飛騨センターの魅力を知ってもらい、施設のより一層の利用促進と更なる県民文化の振興と飛騨地域の活性化を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

開館20周年記念事業であり、客観的な達成指標を設定できない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	開館20周年の節目を機に記念事業を開催することにより、飛騨センターが飛騨地域における県民の文化活動及び交流の場であることを広く周知し、県民文化の振興並びに飛騨の地域社会の活性化を図る。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 飛騨センターは飛騨地域の文化振興や活性化に資する施設となっていること、また、施設利用者の満足度は高いものの、近年は施設利用者数が伸び悩んでいることから、新規利用者の増加につながる取組みが必要である。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 飛騨センターの更なる利用促進を図るため、今後も節目となる年に記念事業を実施する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	